

# 一枚の写真



討清出征 “東京ヲ出テ午前七時新橋ヨリ一声ノ汽笛ト共ニ広島直行ノ列車ニ乗シ”と福生村の陸軍看護手町田政吉は、明治28年3月24日占領した澎湖島の陣中で、出征日誌に書いた。

この写真は、裏書から明治28年2月15日広島で撮影されたもので、“討清出征混成枝隊後備歩兵第一連隊第一大隊衛生部員”の記念であることが分かる。また、西多摩郡から本人（前列左端・28歳）の他、大久野村の浜中才市・篠崎重兵衛、草花村の荒井寅藏の3人の名が見える。市内牛浜の町田政寿家には、軍隊手帳をはじめ、写真の腕章、認識票、手帳（明治27～28年）など当時を知る貴重な資料が保存されている。

（高崎弥太郎氏提供）